

治安改善の取組
スタート

平成15年 3月

暴走族追放条例
制定

平成15年12月

インベスト神奈川
スタート

平成16年10月

受動喫煙防止条例
制定

平成21年 3月



⑰ 第54～55代知事

まつざわ しげふみ
松沢 成文

【在任期間】

平成15年 4月23日
～平成23年 4月22日

戦後最年少の公選知事誕生

- 昭和33（1958）年に川崎市に生まれ、昭和57（1982）年に公益財団法人松下政経塾に入塾し、アメリカの連邦下院議員や州司法長官のスタッフとして国際的な経験を積みました。
- 昭和62（1987）年に神奈川県議会議員に立候補し、29歳で県政史上最年少議員として初当選を果たします。その後、国政にも進出し、衆議院議員を3期にわたって務めました。
- そして平成15（2003）年、当時はまだ珍しかったマニフェストを掲げて知事選に挑み、45歳で戦後最年少（当時）の知事として就任しました。

多方面に政策を展開

- 平成14（2002）年当時、県警の犯罪検挙率が20%を切るなど治安が悪化していました。そこで「**暴走族追放条例**」を制定したほか、**警察官を実質1,500名増員**するなどして、平成23（2011）年には検挙率が39%にまで回復しました。
- 平成16（2004）年10月、**企業誘致政策「インベスト神奈川」**を発表して助成金交付、低利融資、税軽減を実施し、翌年には「**企業誘致ワンストップステーション**」の設置なども行いました。これにより、県内に数多くの企業が進出し、投資総額は6,000億円以上に上りました。
- また、平成21（2009）年に、全国初の「**受動喫煙防止条例**」を制定しました。この条例は、県民が自らの意思で受動喫煙を避けられる環境の整備を促進することを目的としており、たばこの煙を吸いたくない人の健康を守る施策として画期的でした。